

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 小児気管支喘息重積発作におけるハイフローセラピーの有用性の検討

[研究責任者] 小児科 森下 雅史

[研究の背景]

ハイフローセラピーは、酸素療法の一つで、十分に加温加湿した酸素を高流量で鼻カニューレから投与することで、安定した酸素投与を行うとともに、気道の加温加湿、換気量の改善、鼻咽頭の陽圧効果などにより、患者さんの呼吸を助ける効果も期待できる治療法です。人工呼吸療法後のサポートとして、あるいはRSウイルス細気管支炎症例に対する酸素療法としての有効性が報告されていますが、気管支喘息急性増悪に対する有効性を検討した報告は多くありません。

[研究の目的]

小児気管支喘息急性増悪に対するハイフローセラピーの有効性を検討し、その位置づけを明らかにし、今後の気管支喘息診療の充実に寄与すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2015年10月1日から2018年9月30日の間に公立陶生病院小児科でハイフローセラピー（以下HFT）を行った15歳未満の方

●研究期間：当院倫理委員会承認後から2020年3月31日

●利用する検体、カルテ情報

検体：該当なし

カルテ情報：性別、年齢、臨床診断名、HFTの治療期間・治療内容、効果、転帰。気管支喘息急性増悪症例の場合、上記に加えて、既往歴、入院直前の経過、入院時の症状、検査結果（血液、レントゲン、細菌検査など）、発作重症度、合併疾患、他の治療内容、症状経過

●検体や情報の管理

情報は当院のみで活用し、匿名化した上で、集計・解析が行われます。

[研究組織]

●研究代表者（研究の全体の責任者）：公立陶生病院小児科 森下 雅史

●その他の共同研究者：公立陶生病院小児科 石黒 智紀

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除します。情報は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院 小児科 森下 雅史

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139

情報公開用文書 雛形

【使用上の注意】

この雛形は、研究対象者からインフォームド・コンセントを受けることなく、研究の実施について研究対象者に通知または公開を行い、実施する研究における「情報公開用文書」を対象としています。「雛形」ですので、必ずしもこの通り書く必要はありません。以下の点に注意して作成してください。

- 読む対象は研究対象者およびその関係者です。専門用語、医学・医療関係者以外に分かりにくい用語などはなるべく使用しないでください。
- 「赤字」は記載上の注意ですのでそれを参考とし、提出の際は削除してください。
- 「青字」部分は例文として記載していますので、研究内容に応じて記載してください。
例1は多施設共同研究、例2は自施設単独研究を想定しております。
- 「黒字」部分は基本的にはそのままご利用ください。